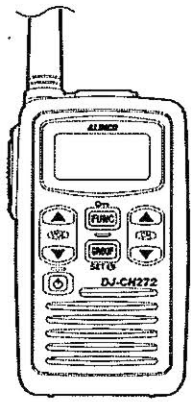


特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)

DJ-CH272

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。



アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品の機能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。

ALINCO株式会社 電子事業部
東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-4
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区東船場4丁目4-9
福岡支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2丁目13-34

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

Table with 2 columns: 表示 (Warning symbols) and 表示の意味 (Meaning of symbols).

Table with 2 columns: 図記号 (Icon) and 表示の意味 (Meaning of icons).

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって通話などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

警告

■使用環境・条件

- この製品を使用できるのは、日本国内のみです。
この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

- 電子機器の近くでは使用しないでください。
内部から漏れた液が皮膚や衣類に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

- イヤホンを使用する場、あらかじめ音量を下げてください。
このトランシーバーは調整済みです。特定制小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。

■異常時の処置について

- 以下の場合、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り出し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

■充電器の取り扱いについて

- 指定以外の電圧で使用しないでください。
充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。
充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。

注意

- 使用環境・条件
テレビやラジオの近くで使用しないでください。
湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。
■保守・点検
お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り出し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

使用前のご注意

- ご使用環境
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。
■水につけないで
IPX4相当の防水性能がありますが、ゴムキャップや電池フタをきちんと閉じないと防水性能を確保できません。

- 分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。

- ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。

日本国内でのみ使用できます。
This product is permitted for use in Japan only.

- 通信距離
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。
■障害物
本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

- バッテリーセーブ
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。

- 第三者による傍受
電波を使用している関係上、無線機間の通話は第三者による傍受を完全に防止することはできません。

- 本機のセットモードには「グループトーク」機能が搭載されています。従来製品とグループトークによる通話をおこなった際、会話が途切れることがあります。

このような場合は弊社ホームページに記載してある上級セットモードの「トーンマージン拡張」機能をONにしてお試しください。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。
3分制限 (3分以上は連続で送信できません)
送信、受信あわせて3分以内です。10秒前に警告音が鳴ります。

注意 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒経たないと次の送信はできません。

キャリアセンス (受信中は送信できません)

一定の強さ以上の信号を受信しているときはPTTキーを押しても送信できません。受信中にPTTキーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープ音をOFFにしているとアラーム音は鳴りません。

付属品と取り付け方

- 付属品をご確認ください
□充電器 □取扱説明書
□ACアダプター □保証書
□リチウムイオンバッテリーパック
□ベルトクリップ (ネジ1本)

注意 保証書ご購入の日付が記載されていないときは、領収書・レシートを保証書とひとしよに保管してください。

ベルトクリップの取り付け

- ベルトクリップをネジで本機の背面に取り付けます。
注意 ネジは必ず専用品をご使用ください。また、定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。

バッテリーパックの装着

- ①カバーを開ける
ロックを外してカバーを開けます。
②バッテリーパックを装着する
ツメを合わせてカバーを閉め、ロックをかけます。
③カバーを閉める
ツメを合わせてカバーを閉め、ロックをかけます。

乾電池ケース (別売オプション) の装着

- 別売オプションの乾電池ケースEDH-38の使用方を説明します。
①乾電池を取り付ける
市販の単四形乾電池3本を乾電池ケース内側の「+」、「-」の表示にしたがってセットします。
②乾電池ケースを装着する
乾電池ケースのツメを本体の溝に差し込んで装着し、ロックをかけます。

注意 乾電池に関するご注意
乾電池は使い方を誤ると破裂や破損、液漏れの原因となります。

充電電池および充電器

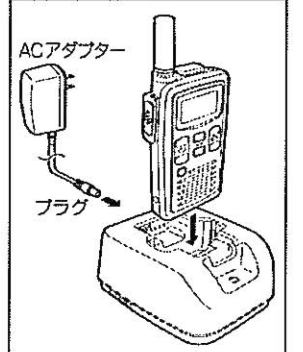
- リチウムイオンバッテリーパック
●充電器：EDC-182
：EBP-80 (3.7V 980mAh) ●ACアダプター：EDC-139

バッテリーパックは出荷時には十分に充電されています。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。

- 注意
・電圧、容量、寸法などの仕様が弊社製品と合わない可能性があり、故障の原因となります。
・弊社充電器は対応する弊社製品専用です。

充電器の使用手順

- ①トランシーバーにリチウムイオンバッテリーパックを装着します。
②ACアダプターのプラグを充電器背面のジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。



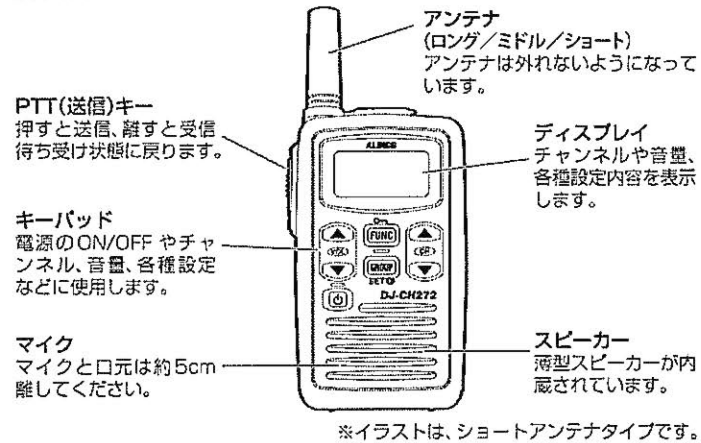
- メモ
・トランシーバーから取り外してバッテリーパックのみを充電することもできます。

- 注意 電池消費時の動作について
電池が消耗した状態で、大きな音が鳴ると電池に負荷がかかり、下記のような動作をすることがありますが故障ではありません。



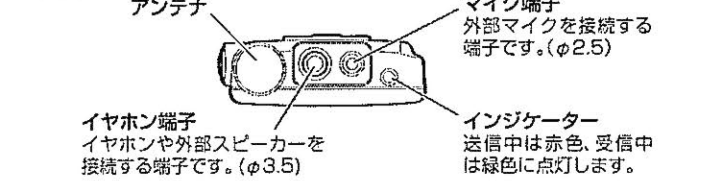
## 各部の名前とはたらき

### 前面部

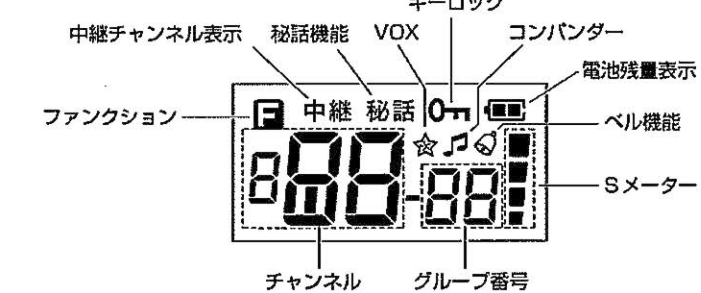


**注意** マイク部にシール類を貼り付けしないでください。相手に通話音が聞こえなくなります。

### 上面部



### ディスプレイ



### チャンネル表示について

- 交互通話時** レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。
  - L表示はレジャータイプ (L01, L09)
  - b表示はビジネスタイプ (b01, b11)

L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ(9チャンネル機)と通信できます。 b表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ(11チャンネル機)と通信できます。
- 中継通話時** レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。
  - L表示はレジャータイプ (L10, L18)
  - b表示はビジネスタイプ (b12, b29)

L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ(9チャンネル)と通信できます。 b表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ(18チャンネル)と通信できます。

## セットモード

各種機能用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

**セットモードにする**

- [FUNC]キーを押しながら[GROUP]キーを押します。→セットモードに入り、項目が表示されます。
- [GROUP]キーを押すごとに項目が切り替わります。[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
- CH[▲/▼]キーを押して設定値を変更します。
- [PTT]キーを押して設定を完了します。

**メモ** セットモードについての詳しい内容や、本書に記載していない上級セットモードについては弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.alinco.co.jp/>「電子事案」

**注意** [FUNC]キーを押したはじから[GROU]キーを短く押してください。[FUNC]キーを長く押す、または[FUNC]キーと[GROU]キーを同時に長く押すとキーロックする操作になりますのでご注意ください。

## 基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

### 交互通話

**電源を入れる**  
[○]キーを約2秒押しします。電源を切るときも同じ操作をします。

**音量を調整する**  
VOL[▲/▼]キーを押す  
ディスプレイに音量レベル「vol-15」が表示されます。キーを押すと「ピッ」という音が聞こえますので適切な音量に調整してください。音量調整は0~30の31段階で、初期状態は「15」に設定されています。

**チャンネルを合わせる**  
CH[▲/▼]キーを押す  
通話したいトランシーバーすべてを同じチャンネルに合わせます。L(レジャー)、b(ビジネス)の表示に注意して合わせてください。

**メモ** キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。CH[▲/▼]キーを同時に押し続けると「ザッ」という音が聞こえ音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

### 受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。インジケータが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

**メモ** 本機にはテールノイズキャンセラー機能を搭載しており受信時の「ザッ」というノイズが低減されています。(テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)

### 送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。インジケータが赤色に点灯し、Sメーターも同時に点灯します。[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。

**注意** 一定の強さ以上の信号を受信しているときは、警告音「プププ」が鳴り送信できません。(キャリアセンス)

### 中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途弊社の中継器が必要です。

### チャンネルを合わせる

CH[▲/▼]キーを押す  
中継通話用チャンネルのL10~L18, b12~b29を選択します。→「中継」が点灯します。

### 送信する

[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。

**メモ** お使いになる中継器の設定をご確認ください。中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機もグループトーク機能を設定し、グループ番号を合わせてください。

**注意** 中継用チャンネルでは、子機同士の間接通話はできません。それぞれの機器が互に距離にあると誤動作することがあります。子機-中継器間、子機-子機間は10m以上離してください。

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt	電池選択(リチウムイオン/アルカリ乾電池)	LI/AL	LI
CP	コンバーター(バックノイズ低減)	OFF/ON	OFF
vo	VOX(音声検出自動送信)	OFF/LO/Hi	OFF
SC	秘話	OFF/ON	OFF
bP	ビーブ音(キー操作音、各種アラーム音)	OFF/1~5	1
EP	エンドビー(送信終了音)	OFF/ON	OFF
bL	ベル(呼び出しお知らせ)	OFF/ON	OFF
LP	ランプ	OFF/5秒/ON	5秒
PH	PTTホールド(送信保持)	OFF/ON	OFF
Pt	PTTオンオフ(送信禁止)	OFF/ON	ON
At	中継器接続手順	OFF/1/2	2
Er	イヤホン断線検知	OFF/ON	ON
Cb	コールバック	OFF/ON	OFF
Po	送信出力 (Hi:10mW/Lo:1mW)	Lo/Hi	Hi
EmG	緊急通報機能 (SET/E) 長押しで通報	OFF/ON	OFF

**メモ** エンドビー(送信終了音)は送信側から発せられるため、機能をON/OFFする際は送信側機器を設定してください。

### コールトーン機能

送信中にCH[▲/▼]キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手呼び出すことができます。[▲]と[▼]キーでは音色が異なります。

**注意** ビープ音をOFFにしているとき、呼び出し音は鳴りません。

### グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

①[GROUP]キーを押す  
グループ番号が点灯します。

②グループ番号を合わせる  
[FUNC]キーを押しながらCH[▲/▼]キーを押して自分のグループのトランシーバーをすべて同じグループ番号にします。

③送信する  
[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

**メモ** グループトークはトーンスケルチと呼ばれることがあります。グループトーク機能を設定していないトランシーバーは通話音は聞こえますが、グループトーク機能を設定しているグループとは通話できません。

**注意** 従来製品と組み合わせて使用した際には、トーン信号の精度差により通話が途切れることがあります。このような場合は別のグループ番号に設定変更して通話をお試しください。

### キーロック

キーロックしておくことで誤操作を防止できます。

●**簡易キーロック(音量変更可能)**  
[FUNC]キーを約2秒押しします。「Loc1」が点滅した後、「0m」が点灯します。解除するには同じキー操作をします。

●**通常キーロック(音量変更不可)**  
[FUNC]キーと[GROUP]キーを同時に約2秒押しします。「Loc2」が点滅した後、「0m」が点灯します。解除するには同じキー操作をします。

### 電池残量表示

電池の残量が少なくなるとバッテリーマークが「」表示になり、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。さらに残量が少なくなると「」表示になります。「」表示になった場合は、バッテリーを充電、もしくは新しい電池と交換してください。

**メモ** 「電源が入らない」「オンオフを繰り返す」「ディスプレイの表示が消える」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、バッテリーを充電、もしくは新しい電池と交換してください。

### リセット

設定状態がわからなくなったときに初期化します。  
[FUNC]キーを押しながら電源を入れます。ディスプレイ全点灯中に[FUNC]キーを離します。工場出荷状態の「L01」になります。

## その他の機能

本書に記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.alinco.co.jp/> →「電子事案」

**デュアルオペレーションモード**  
メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

**リモコンモード**  
本機をリモコンとして、中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。中継器DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112Rに対応しています。

**メモ** 続いて拡張機能に切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すかリセットすることで正常な状態に戻ることがあります。

## 故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池が消耗している。 電池の入れ方が間違っている。	新しい電池と交換してください。 バッテリーパックを充電してください。 電池を正しく入れ直してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。 チャンネルが違う。 グループ番号が違う。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。 同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。 3分の通信時間制限を超過している。 PTTオンオフ機能がOFFになっている。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。 [PTT]キーを離し、2秒経過してから送信してください。 PTTオンオフ機能をONに設定してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。 バッテリーパックがきちんと装着されていない。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。 バッテリーパックを正しく入れ直してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。電池が消耗しているときに誤動作することがあります。バッテリーを充電もしくは新しい電池と交換してください。

## 生産終了製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。不測の事態により在庫がなくなり、修理ができない場合もありますのでご了承ください。補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

## オプション一覧

EBP-80	リチウムイオンバッテリーパック (3.7V980mAhスベア)
EDC-182	充電スタンド (スベア)
EDC-139	ACアダプター (スベア)
EMS-59 (※1)	スピーカーマイク
EME-46A	ヘッドセット
EME-6	ストレートコードイヤホン (オープンエア)
EME-26	カールコードイヤホン (オープンエア)
EME-50	ストレートコードイヤホン (耳かけ型)
EME-52A	イヤホンマイク (オープンエア)
EME-53A (※2)	ヘルメット用ヘッドセット
EME-34A	イヤホンマイク (カナル型)
EME-21A	イヤホンマイク (グレー)
EME-21AB	イヤホンマイク (ブラック)
EME-49A	イヤホンマイク (オープンエア)
EME-39A	咽喉イヤホンマイク
EME-29A	イヤホンマイク (耳かけ型)
EME-57A	イヤホンマイク (カナル型耳かけ)
EME-30A	イヤホンマイク (ブーム型)
EME-51A	イヤホンマイク (耳かけ型)
EME-31A	イヤホンマイク (マイク口)
ESC-55	ソフトケース
EDH-38	乾電池ケース

(※1) スピーカーマイクは、PTTホールド機能、VOX機能が使用できません。  
(※2) バイク用ヘルメットには使用できません。

## 定格

送受信周波数	レジャーチャンネル	421.8125 ~ 421.9125MHz(受信) 422.2000 ~ 422.3000MHz 440.2625 ~ 440.3625MHz(送信)
	ビジネスチャンネル	421.5750 ~ 421.7875MHz(受信) 422.0500 ~ 422.1750MHz 440.0250 ~ 440.2375MHz(送信)
周波数制御チャンネル	421.8000MHz(受信) 440.2500MHz(送信)	
電波型式	F3E(FM)/F1D(FSK)	
送信出力	10mW/1mW	
受信感度	-14dBu (12dB SINAD)	
音声出力	100mW以上	
通信方式	単信方式、半復信方式	
定格電圧	DC 3.7V / 4.5V	
動作温度範囲	-10℃ ~ +50℃(但し充電は0℃~+40℃)	
寸法	55(W)×93.8(H)×18.8(D)mm(突起物除く) アンテナ長さロング150mm/ミドル72mm/ショート36mm	
重量	約110g(バッテリーパック含む)	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。